

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社アイフリークモバイル 上場取引所 東
コード番号 3845 URL https://www.i-freek.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 邦臣
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 三宅 公崇 TEL 03-6274-8901
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	649	4.0	△4	-	4	△86.4	3	△86.6
2023年3月期第1四半期	624	△5.0	22	△28.0	30	△52.1	29	△53.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3百万円 (△86.6%) 2023年3月期第1四半期 29百万円 (△53.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.22	-
2023年3月期第1四半期	1.65	1.65

(注) 2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,173	777	65.7
2023年3月期	1,195	826	68.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 770百万円 2023年3月期 820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	3.00	3.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2024年3月期の配当予想については未定としております。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,931	12.5	92	8.9	86	△42.5	82	△44.4	4.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
第2四半期累計期間の業績予想については、業績管理を年次のみで行っているため、記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名） 株式会社I-FREEK GAMES

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	17,839,641株	2023年3月期	17,839,641株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	－株	2023年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	17,839,641株	2023年3月期1Q	17,839,641株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
（継続企業の前提に関する注記）	7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	7
（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）	7
（セグメント情報等）	7
（収益認識関係）	8
（重要な後発事象）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行され、社会経済活動の正常化と景気の緩やかな持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の上昇や、世界的な金融引き締めが続く中での景気への影響など、経済情勢の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、売上高については前連結会計年度における株式会社グランディール、株式会社グランソル及び株式会社グランデュオからの事業の一部譲受けの影響により前年同四半期比で増加したものの、コンテンツ事業におけるイベントの出展費用やサービスの改修費用などの先行投資による費用の増加等により、増収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は649,852千円（前年同四半期比4.0%増）、営業損失は4,040千円（前年同四半期は22,612千円の営業利益）、経常利益は4,135千円（前年同四半期比86.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,942千円（前年同四半期比86.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<コンテンツ事業>

コンテンツ事業におきましては、デジタル絵本アプリ「森のえほん館」での新作配信、著名人とのコラボレーション企画及び知育アプリにおける施策に注力いたしました。

また、絵本を読んで語学学習ができるアプリ「なないろえほんの国」が2023年4月1日より株式会社やる気スイッチグループが運営するバイリンガル幼児園で利用されるコンテンツとして採用され、同年6月末には子ども向けのYouTubeチャンネル「Popo Kids「ポポキッズ」」のチャンネル登録者数が10万人を突破するなど、当社グループのコンテンツの重要性が確認される四半期でありました。

さらに、2025年に開催される大阪・関西万博へ向けた機運の醸成と地域活性化に繋げることを目的として、株式会社アイフリークスマイルズが咲洲ブレ万博実行委員会と共同で、テクノロジーとアートの力で地域と人を盛り上げるイベント「CREPOS ARアートフェスティバル」を開催いたしました。

これらの結果、コンテンツ事業の売上高は64,473千円（前年同四半期比1.6%増）、セグメント損失は8,329千円（前年同四半期は10,067千円のセグメント利益）となりました。

<コンテンツクリエイターサービス（CCS）事業>

コンテンツクリエイターサービス事業においては、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の上昇や、世界的な金融引き締めが続く中での景気への影響など、先行きは依然として不透明な状況が継続するものの、コロナ禍によるDX化の推進等により受注状態は引き続き好調であることから、稼働率は比較的高い水準で推移いたしました。

また、当社ゲーム関連事業における意思決定の迅速化及び機動的な企業運営を強化し、事業執行の確実性とスピード化を図るため、当該事業領域に特化した子会社である株式会社I-FREEK GAMES（以下「I-FREEK GAMES」という。）を2023年5月に設立しました。

さらに、当社グループとかねてより取引関係にあり、ゲーム関連のSES業務に精通したスタッフを豊富に抱え、安定的なサービス提供を行っているエスティーエーグループとI-FREEK GAMESとの間で、同グループの一部事業をI-FREEK GAMESが譲り受ける旨の事業譲渡契約書を同年6月に締結いたしました。

これらの結果、CCS事業の売上高は585,379千円（前年同四半期比4.3%増）、セグメント利益は75,557千円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

（注）製品名及びサービス名は商標又は登録商標です。

（2）財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて28,026千円（2.5%）減少し、1,106,642千円となりました。これは主として、前払費用が11,128千円増加する一方、売掛金が33,212千円、未収還付法人税等が5,214千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6,340千円（10.5%）増加し、66,826千円となりました。これは主として、無形固定資産が3,634千円減少する一方、有形固定資産が3,057千円、投資その他の資産が6,917千円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて21,685千円（1.8%）減少し、1,173,469千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて29,784千円（10.3%）増加し、318,325千円となりました。これは主として、買掛金が6,739千円、未払法人税等が4,206千円減少する一方、未払金が15,221千円、未払消費税等が20,977千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2,855千円（3.6%）減少し、77,492千円となりました。これは主として、長期借入金が2,859千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて26,928千円（7.3%）増加し、395,818千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて48,613千円（5.9%）減少し、777,650千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を3,942千円計上したことにより増加する一方、配当金の支払により53,518千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表しました通期の業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	676,443	676,427
売掛金	410,693	377,480
仕掛品	421	1,197
前払費用	33,079	44,208
未収入金	4,730	3,975
未収還付法人税等	7,398	2,183
短期貸付金	11,791	11,791
その他	3,689	4,117
貸倒引当金	△13,579	△14,740
流動資産合計	1,134,668	1,106,642
固定資産		
有形固定資産	11,437	14,495
無形固定資産		
のれん	38,874	35,317
その他	1,285	1,208
無形固定資産合計	40,159	36,525
投資その他の資産	8,888	15,806
固定資産合計	60,485	66,826
資産合計	1,195,154	1,173,469
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,706	9,966
1年内返済予定の長期借入金	27,801	22,320
未払金	34,694	49,916
未払費用	141,812	144,338
未払法人税等	4,241	35
未払消費税等	28,673	49,650
預り金	34,203	41,481
その他	408	616
流動負債合計	288,541	318,325
固定負債		
長期借入金	77,139	74,280
資産除去債務	3,209	3,212
固定負債合計	80,348	77,492
負債合計	368,889	395,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	461,893	461,893
利益剰余金	348,385	298,809
株主資本合計	820,278	770,702
新株予約権	5,986	6,948
純資産合計	826,264	777,650
負債純資産合計	1,195,154	1,173,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	624,879	649,852
売上原価	433,017	465,190
売上総利益	191,861	184,662
販売費及び一般管理費	169,248	188,703
営業利益又は営業損失(△)	22,612	△4,040
営業外収益		
受取利息	198	133
業務受託料	586	530
助成金収入	6,657	133
受取保険料	—	4,900
貸倒引当金戻入額	—	1,965
その他	689	683
営業外収益合計	8,131	8,345
営業外費用		
支払利息	197	72
業務受託費用	67	95
その他	6	—
営業外費用合計	271	168
経常利益	30,473	4,135
特別損失		
固定資産除却損	—	107
特別損失合計	—	107
税金等調整前四半期純利益	30,473	4,027
法人税、住民税及び事業税	998	85
法人税等合計	998	85
四半期純利益	29,475	3,942
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,475	3,942

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	29,475	3,942
四半期包括利益	29,475	3,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,475	3,942

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社I-FREEK GAMESを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、株式会社I-FREEK GAMESは当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	コンテンツ事業	コンテンツクリエイターサービス事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	63,433	561,445	624,879	—	624,879
外部顧客への売上高	63,433	561,445	624,879	—	624,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	63,433	561,445	624,879	—	624,879
セグメント利益	10,067	79,398	89,466	△66,853	22,612

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	コンテンツ事業	コンテンツクリエイターサービス事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	64,473	585,379	649,852	—	649,852
外部顧客への売上高	64,473	585,379	649,852	—	649,852
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	64,473	585,379	649,852	—	649,852
セグメント利益又は損失(△)	△8,329	75,557	67,228	△71,269	△4,040

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

（重要な後発事象）

（子会社への事業譲渡）

当社は、2023年4月19日開催の取締役会において、子会社である株式会社I-FREEK GAMESを設立し、当該子会社に対して当社の事業の一部を譲渡することについて決議し、同年7月25日に同社と事業譲渡契約を締結し、同年8月1日に当該子会社に事業譲渡をいたしました。

（1）事業譲渡の目的

当社は、年齢や性別・国籍・身体的な壁を超えて、人と繋がることができるエンターテインメントであるe-Sportsを新しい文化として発展させていくため、ゲーム関連事業が有するノウハウを結集した、e-Sports関連サービス（イベントの企画、運営、配信、機材貸出、スタッフの派遣等）等の提供に向けた体制構築を進めておりますが、この度、当該事業について、意思決定の迅速化及び機動的な企業運営を強化し、事業執行の確実性とスピード化を図るため、当該事業領域に特化した子会社である株式会社I-FREEK GAMESを設立し、当該子会社に当社ゲーム関連事業を譲渡いたしました。

（2）事業譲渡の概要

①事業譲渡の内容

当社事業のうち「ゲーム関連事業」を株式会社I-FREEK GAMESに譲渡しております。

②譲渡部門の2023年3月期における売上高及び経常利益

	対象事業部門(a)	2023年3月期連結実績(b)	比率(a/b)
売上高	499,200千円	2,605,010千円	19.2%
経常利益	22,660千円	150,055千円	15.1%

③譲渡資産及び負債の項目

譲渡する資産

流動資産 94千円

固定資産 34,131千円

資産合計 34,226千円

譲渡する負債

該当事項はありません。

④譲渡価格及び決済方法

譲渡価額 34,226千円

決済方法 現金決済

（3）子会社設立及び事業譲渡の日程

子会社設立に関する当社取締役会決議	2023年4月19日
子会社設立	2023年5月16日
子会社との事業譲渡契約締結日	2023年7月25日
子会社への事業譲渡日	2023年8月1日

（取得による企業結合）

当社は、2023年4月19日開催の取締役会において、株式会社エスティエー、株式会社エスティエーゲインズ、株式会社エスティエープラス、株式会社エスティエーアスト、株式会社エスティエーリアタイズ、株式会社エスティエースペースル、株式会社エスティエープリント、株式会社エスティエークリーフ及び株式会社Vエスティエー（以下、これらを総称して「エスティエーグループ」という）から事業の一部を譲り受けることを決議し、同日付でエスティエーグループと事業の一部譲受けに関する基本合意書を締結いたしました。その後、譲受け事業等の条件面の協議を進め、同年6月30日付でエスティエーグループと株式会社I-FREEK GAMESとの間で事業譲渡契約を締結し、同年7月1日より事業を譲り受けております。

（1）事業譲受の概要

①相手企業の名称及びその事業の内容

相手企業の名称	株式会社エスティエー 株式会社エスティエーゲインズ 株式会社エスティエープラス 株式会社エスティエーアスト 株式会社エスティエーリアタイズ 株式会社エスティエースペースル 株式会社エスティエープリント 株式会社エスティエークリーフ 株式会社Vエスティエー
事業の内容	S E S 事業

②事業譲受を行った主な理由

当社グループは、年齢や性別・国籍・身体的な壁を超えて、人と繋がることのできるエンターテインメントであるe-Sportsを新しい文化として発展させていくため、ゲーム関連事業が有するノウハウを結集した、e-Sports関連サービス（イベントの企画、運営、配信、機材貸出、スタッフの派遣等）等の提供に向けた体制構築を進めており、ゲーム関連のS E S業務に精通したスタッフを豊富に抱え、安定的なサービス提供を行っている実績をもつエスティエーグループと2023年6月30日に事業譲渡契約を締結いたしました。

③事業譲受日

事業譲受け開始日	2023年7月1日
事業譲受け終了日	2023年11月中（予定）

④企業結合の法的形式

事業譲受

（2）譲受事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現在算定中であります。

（3）発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現在算定中であります。

（4）企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額ならびにその主な内訳

該当事項はありません。